

《症例報告》

^{99m}Tc -HSA-DTPA SPECT が診断に有用であった
メッケル憩室による大量下血の 1 例

太田 仁八* 福永 義純**

* 大阪赤十字病院検査部

** 大阪府立羽曳野病院アイソトープ科
(現；中宮病院放射線科)

要旨 15 歳の男子が大量の下血で入院した。11 歳時にも 2 度同様の既往があり，そのときはメッケル憩室シンチグラフィで所見がなかったことから， ^{99m}Tc -HSA-DTPA による出血シンチグラフィを行った。planar 像に，冠状断 SPECT を追加することで，出血源の同定がより容易になった。開腹したところメッケル憩室であった。

出血シンチグラフィにも積極的に SPECT を追加することが，有用であると思われ報告した。

(核医学 36: 835-838, 1999)